

☆☆めざす児童像：「気づく子 学ぶ子 元気な子」☆☆

大村市立大村小学校
学校だより

感じて動く

文責：校長 高木 修
令和5年10月10日No.12

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

お礼が遅くなりましたが、10月1日（日）の運動会では、保護者の皆様、御家族の皆様、そして地域や御来賓の皆様には早朝からお越しいただき、ありがとうございました。「暑さ」を心配していましたが、さわやかな秋晴れの、最高の運動会日和となり、子どもたちは、元気一杯に演技、競技に臨むことができました。

PTAの役員の皆様をはじめとする保護者の皆様には、当日の係、そして片付けまで大変お世話になりました。皆様の御理解と御協力のおかげで、とてもいい運動会となりました。



仲間とともに走り出せ! 笑顔輝け運動会



↑ 6年生 大小ソーラン節 2023



↑ 1年生 アイドルの玉入れ

◆「大小っ子宣言」

大小っ子宣言

- 一、「ありがとう」「ごめんなさい」が言える大小っ子になります。
- 一、友達がいやがることをぜったいに言いません。しません。
- 一、助け合い、はじめ0（ゼロ）の大小っ子になります。
- 一、命を大切にして、明るい明日をつくります。

年度当初の学校だよりでお伝えしたとおり、本校でこれまで「人権宣言」として示していた4つの約束を、今年度から「大小っ子宣言」としています。そして、意識化を図るために、玄関や教室に掲示し、さらに朝の会では、子どもたちに読ませています。

毎日読んでいますので、言葉としては、子どもたちの中に浸透してきています。では、実際の言動はどうでしょうか。

学校生活の中で子どもたちの言葉には、ときどき「どきっ」とするような言葉があります。いわゆる「ちくちく言葉」という、言われた相手の心に突き刺さるような言葉です。「友達がいやがることをぜったいに言いません。しません。」という約束をしていますが、意外と安易に言葉にしてしまっているように感じます。きっと、自分が言われると間違いなくいやな気持ちになる言葉です。それを、友達に言っているわけはありません。自分も周りの人も、一人一人が大切な存在です。学校という集団生活の場でともに過ごしていく中で、それぞれのもつ「良さ」を感じさせ、お互いを認める気持ち、思いやりの気持ちを育て、「ちくちく言葉」をなくしていきたいです。そのために、子どもたちと真摯に向き合い、根気強く指導を重ねていきたいと考えています。そして、みんなと過ごすことの心地よさや、みんなの大切さに「気づく心」を磨いていきたいと思ひます。